

看護職は県民の健康生活を

ととす ます



いのちを支え、そして人生を支える看護
看護職はさまざまなところで活躍しています

寄稿

自分らしく生きるためにあなたのことを話してみませんか

人生会議のススメ

みなさまの健康生活を支援します

第6回 ナース川柳“ひょうご”優秀作品



公益社団法人 **兵庫県看護協会**

Nursing now

看護の力で健康な社会を！





いのちを支え、そして人生を支える看護

看護職とは

看護職には保健師助産師看護師法で定められた

「保健師」「助産師」「看護師」「准看護師」の4つの資格があります。

どれも専門的な知識や技術を用いて人々の健康を守り、
その人らしい豊かな人生を送れるようにサポートする職業です。

兵庫県看護協会は

兵庫県で約32,300人の看護職を会員に有する
職能団体です。私たちは、県民のみなさまの
健やかな暮らしを地域で守り支えるために、
保健・医療・福祉の分野に広く貢献し、より
よい看護の提供に日々活躍する看護職を支援
しています。



兵庫県看護協会会館
(神戸市中央区)



マスコットキャラクター
「ナース のじぎくちゃん」



訪問看護ステーション

家庭を訪問して療養生活を支援します。



まちの保健室

健康について、何でも気軽にお話できる場を提供します。



保健センター 健康福祉事務所・保健所

乳幼児から高齢者まで幅広い世代の健康づくりを支援します。



企業の研究所

臨床研究を進めたり、看護に使用する製品開発にかかわります。

看護職は
さまざまところで
活躍しています。



助産所

妊婦さんやママと赤ちゃん、家族の健康を支援します。



介護老人保健施設 介護老人福祉施設等

高齢者の健康を守り日常生活を支援します。



病院・診療所

療養上の世話や診療の補助等を行います。



看護の教育機関

看護学校や大学などで看護学生の教育をします。



海外での看護活用等

JICA(国際協力機構)の青年海外協力隊など、海外で活動します。



企業の健康管理室

働く人々の健康管理を支援します。



学校の保健室等

児童・生徒の健康づくりを支援します。

自分らしく生きるために

あなたのことを話してみませんか

人生会議 のススメ



誰でも、いつでも命に係わる大きな病気やケガをする可能性があります。人生の終わりまであなたはどのように過ごしたいですか？

元気な時から自分らしく生きるためにあなたの望みを周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要になります。

もしもの時のために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。

人生会議を行う意義について、加古川中央市民病院で家族支援専門看護師として活躍されている永富 宏明さんにお聞きしました。

皆さんは、人生会議という言葉はどこかで見聞きしたことはありませんか。この言葉は、まだ広く浸透していないかもしれませんが、2018年に生まれました。人生会議とは「もしもの時」のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。これを言い、医療従事者は人生会議のことをACP（アドバンス・ケア・プランニング）と呼んでいます。人生会議は、昨今の医療現場において最も注目を浴びていると言っても過言ではなく、医療従事者に対して、患者さんの人生会議を少しでも支援できるように体系的な教育が始まっています。では、なぜ人生会議が医療現場で注目を浴びているのでしょうか。

私たちは普段、命の危険が差し迫ったような「もしもの時」のことを想像することは少ないと思いますが、そのような状態になると、約70%の方がこれからの治療やケアについて自分で決め、人に伝えることができなくなると言われています。そのため、救命救急の現場では、患者さんがどのような治療（例えば、心臓マッサージを行うこと、人工呼吸器を装着すること、心臓を動かすための薬を使用することなど）や、ケアを望んでいたか分からないままとなります。この場合、医療従事者は、

患者さんの治療についてご家族等の周りの方に意思決定を迫ることになります。

しかし、私たちは、「もしもの時」にどのような治療やケアを望んでいるか、家族等の周りの方と話や相談をすることがほとんどありません。そのため、多くの場合、「もしもの時」の患者さんの意向がご家族等に伝わっていません。

そして、ご家族等は治療やケアをどうするか医療従事者に問われると、患者さんの命を大切に思い、助かってほしいという気持ちで治療を選択することが多いです。それは当然のことだと思えます。しかし、大切な命を救うために行った治療やケアが、本当に患者さんにとって善いこと・正しいことなのだろうかという悩みを、治療やケアを決定したご家族等はもちろん医療従事者も抱えます。

このような状況があるため、医療従事者の中で、「もしもの時」に私たちが希望する治療やケアを受け、その人らしい生き方を支えるために、人生会議が必要ではないかという機運が高まり、注目が集まっています。

一方で、国民はどのように人生会議について考えているのでしょうか。厚生労働省は「もしもの時」の医療のあり方に関して、国民に「平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査」³⁾を行っています。



永富 宏明

(ながとみ ひろあき)

2011年に家族支援専門看護師の資格を取得。前職で終末期の患者さん家族等の退院調整や外来での支援に従事し、2016年に加古川中央市民病院に入職。現在は、成人病棟の看護師長として、患者さん家族への支援や、院内外の看護師に家族支援に関する教育を実施している。

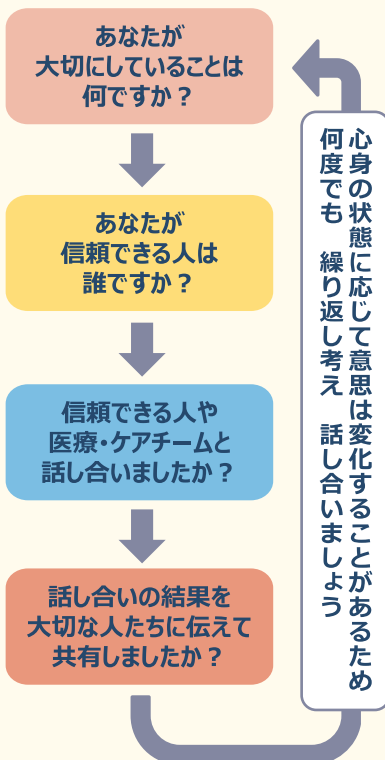
それによると、人生会議の考え方に賛成であるという回答した国民は約65%、反対は約2%という結果でした。また、実際に人生の最終段階における医療について家族や医療従事者と話し合ったことがある割合は約40%、話し合ったことがない割合は約55%、その理由は、きつかけがなかったが約56%、必要性を感じていなかったが約27%、知識が無く何を話したらいいかわからなかったが約22%、話し合いたくないからが約6%という結果でした。つまり、人生会議の意義については、すでに半数以上の方が賛成していますが、人生会議を行うきつかけや知識が無いため、行動に移すことができない状況があることが窺えました。

う、人生会議の進め方について提示させていたいただきたいと思います。では、人生会議はどのように進めればよいのでしょうか。話し合いの進めかたの例は図1にある通りで、大きく4つのプロセスがあります。1段階目は、【皆さんが大切にしていることが何か】を考えます。例えば、もし生きることができる時間が限られているとしたら、あなたにとって大切なことはどんなことか？生き続けることが大変な状況はどんな時か？また、その時になったらどのように過ごしたいか？ということことです。このようなことを考えることで、あなたが「もしもの時」に大切にしたい【価値】が見えます。家族の負担にならないことを大切にしながら、最後まで望みを持ちできる限り治療し続けることを大切にされる方など、様々な価値があると思います。

2段階目は、【皆さんが信頼できる人】を考えます。いざという時に、皆さんの代わりに受ける医療やケアについて医療従事者と話し合ってほしい人だと思ってください。あなたが大切にしている価値・考え・好みを理解し考えてくれる人になります。それは誰でしょうか。そして、そのことをご本人に伝えていましょうか。また伝えていないということなら、その理由も考えてみましょう。

3段階目は、【信頼できる人と話し合った内容について、医療従事者と話をすること】です。あなたが大切にしていると考えたことと、医療従事者が考える最善が異なることは、医療の現場でよくあります。そのため、信頼できる人と医療従事者と一緒「もしもの時」について話し合っておくことは重要です。また、「もしもの時」に信頼できる人と医療従事者の意見がずれることも考えられます。その場合、どのように治療やケアを決めるか相談しておくことも大切です。4段階目は、【これまで考え話し合ってきたことを大切な人達と共有すること】です。しかし、話し合い一度決めたことだからといって、それを変えてはならないということではありません。心と体の状態によって、考えていることは変わります。そのため、何度でも繰り返し考え話し合ってください。

話し合いの進めかた(例)



人生会議 (ACP) 普及・啓発リーフレット、厚生労働省ホームページ、厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/content/10802000/000536088.pdf>

図 1

1段階目だけでもやってみてはいかがでしょうか。無理をして結論を出すようにすることよりも、自分がどんな価値を持っているのか考えてみることや、その考えを家族等の周りの方たちと少しでも話をしてみることで、そのように少しずつ人生会議を進めていくことが大切ではないかと思えます。

人生会議の進め方については、神戸大学が作成した『ゼロからはじめる人生会議「もしもの時」について話し合おう』(下記に記載のWeb)に掲載されています。実際にあなた自身の考えを入力することができるだけでなく、入力した内容を印刷することもできます。また、リーフレットについても作成されました。これらのサイトを是非、ご覧いただき皆さんの人生会議にお役立て頂いたらと思います。

最後になりますが、人生会議が医療従事者には注目を浴びている言葉であっても、皆さんにとってはまだまだ馴染みの薄い言葉です。そのため、私は、医療従事者のみが人生会議について熱心に取り組んでいる現状があるのではないかと考えます。そうであった場合に、人生会議の主役であるはずの皆さんを置き去りにして、医療者の視点で人生会議を押し進めてしまっていないか、と心配しています。医療従事者が皆さんの人生会議の支援者としての立場ではない可能性があります。皆さんが戸惑っている現状があるのかもしれませんが、人生会議は医療従事

者が主体で行うものではありません。皆さん自身が「もしもの時」の治療やケアのあり方について考えることが必要と感じた時に行うものです。今回の寄稿がそのための一助となれば幸いです。また、皆さんが人生会議について知りたいこと・聞きたいことがありましたら、かかりつけの病院・診療所の医師や、看護師にご相談いただけると幸いです。

引用文献

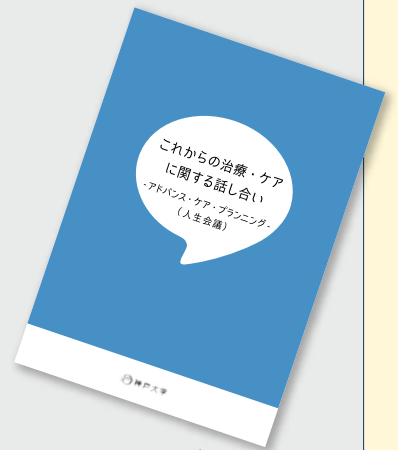
- 1) 「人生会議」してみませんか、厚生労働省ホームページ、厚生労働省、2019。(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html) [2020年1月29日確認]
- 2) Silveira, MJ., Kim, SYH., Langa, KM. : Advance Directives and outcomes of surrogate decision making before death, N Eng J Med, 362, p.1211-1218, 2010
- 3) 人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会：平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書、厚生労働省ホームページ、厚生労働省、2018。(https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/saisyuiryo_a_h29.pdf) [2020年1月29日確認]
- 4) 人生会議(ACP)普及・啓発リーフレット、厚生労働省ホームページ、厚生労働省、2019 (https://www.mhlw.go.jp/content/10802000/000536088.pdf) [2020年1月29日確認]
- 5) ゼロからはじめる人生会議「もしものとき」について話し合おう、厚生労働省・神戸大学、2018。(http://www.med.kobe-u.ac.jp/jinsei/index.html) [2020年1月29日確認]
- 6) アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)、一般的なACP、神戸大学、2020 (http://www.med.kobe-u.ac.jp/jinsei/acp_kobe-u/acp_kobe-u/acp01/index.html) [2020年3月2日確認]

参考文献

- 1) 神戸大学医学部附属病院 地域がん診療連携拠点病院機能強化事業 がん患者のアドバンス・ケア・プランニングを支える～患者と医療者が話し合い、患者の意思を尊重した治療・療養を支援するには～、木澤義之「がん治療におけるアドバンス・ケア・プランニングとは」、配布資料、2019年10月22日開催

『ゼロからはじめる人生会議「もしもの時」について話し合おう』に、実際に入力してみましょう。

■トップページ



▲リーフレット



『ゼロからはじめる人生会議「もしもの時」について話し合おう』のURL 5) <http://www.med.kobe-u.ac.jp/jinsei/index.html>
リーフレットのURL 6) : http://www.med.kobe-u.ac.jp/jinsei/acp_kobe-u/acp_kobe-u/acp01/index.html

あなたの人生を
応援します!!



兵庫県看護協会は みなさまの健康生活を支援します。

私たちは「看護の力」を結集して安全・安心の社会づくりをめざし時代が求める看護の実現にむけて活動をしています。



兵庫県ナースセンターは兵庫県看護協会が
兵庫県知事の指定を受けて運営する
無料職業紹介所です。

- 看護なんでも相談・メンタルヘルス相談(本所のみ)
- 復職支援研修
- 看護師等免許保持者の届出制度
- 進学相談

お近くのナースセンターをご利用ください。

兵庫県ナースセンター

- 本所
TEL 078-341-0240
- 姫路支所
TEL 079-281-5006
- 宝塚支所
TEL 0797-63-5472
- サテライト北播
TEL 0795-42-0242
- サテライト但馬
TEL 079-663-0240



詳しくはホームページをご覧ください。

訪問看護ステーション

訪問看護は、住み慣れた場所で、自分らしく生きることを支えるために、病状や療養生活を専門家の目で見守り、的確なアセスメントに基づいたケアとアドバイスを行います。

「いつでも、どこでも、だれにでも、最期まで寄り添い力になります」を合言葉に、在宅療養中の方が、安心して家庭での療養生活を継続できるように支援するとともに、生活の質に配慮した利用者中心の看護の提供を目指しています。

【訪問看護サービスの内容】

療養生活の
相談・支援

家族の
相談・支援

健康状態の
管理

終末期の
看護

医療処置
医療機器の
管理

エンドオブ
ライフケア

リハビリ
テーション

在宅移行
支援



【兵庫県看護協会立 訪問看護ステーション】

- 神戸訪問看護ステーション…TEL.078-341-1201
- 尼崎訪問看護ステーション…TEL.06-6426-6338
- 出石訪問看護ステーション…TEL.0796-53-2715

まちの保健室

地域住民の健康寿命延伸に向け、看護の専門性を発揮し、地域をつないで支え、その人らしい生活が送れるように支援するために地域の特性を活かした活動を展開しています。

「病院に行くほどでもないけど、ちょっと相談したい…」
など、健康相談をお待ちしております!

兵庫県看護協会「まちの保健室」

神戸市中央区下山手通5-6-24 1階
毎週月曜日 13:00~15:00に開催しています。
お気軽にご参加ください。

【内容】健康相談、健康測定、介護・子育て相談等

※機器の不具合等で測定ができない場合があります。
ホームページをご確認の上、お越しください。



— 看護協会は全国に —

看護協会は、すべての都道府県に置かれ、全国組織である日本看護協会(会員数約74万人)と連携してさまざまな活動を展開しています。

公益社団法人 兵庫県看護協会

〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-6-24
TEL 078-341-0190(代)
FAX 078-361-6652

ホームページ
<https://www.hna.or.jp/>



日本看護協会ホームページ

<https://www.nurse.or.jp/>



第6回 ナース川柳 “ひょうご” 優秀作品

兵庫県看護協会 会長賞

手島美津子

連れが逝き ふたたびの春 看護みち

兵庫県健康福祉部 部長賞

酒井 龍輝

帰るとき いつも聞こえる お大事に

神戸市健康局 局長賞

中橋 莉玖斗

おじいちゃん 若いナースに 一目ぼれ

兵庫県川柳協会 理事長賞

丸山 正人

病室の 異変を見抜く ナースの目

成人一般部門賞

岡本 潮里

ナースの手 離さぬ老母 退院日

看護職部門賞

松谷 今日子

ナースの手 心の扉 開く鍵

看護学生部門賞

松本 彩花

自分より なんでも知ってる 患者さん

ジュニア賞 (高校生の部)

足立 春花

看護師が つないでくれた この生命

ジュニア賞 (中学生の部)

岩崎 朱華

リハビリの 背中支える ナースの手

ジュニア賞 (小学生の部)

坂部 優衣

お薬が ナースの えがおで タピオカに

ナースのじぎくちゃん賞 (看護職部門)

中東 真紀子

母みとり 娘に戻り 涙する

ナースのじぎくちゃん賞 (看護学生部門)

江口 和也

ケア拒む 乙女の年齢 八十年代

優秀賞

見て聴いて命を 護る 看護職

中村 友理

めぐりあう 命すべてを 支えたい

加藤 南帆

「痛くないよ」その一言で がんばれた

市位 琴美

ナースは ねかげでしんどい しごとする

黒田 楓馬

夜勤明け 帰れば ママになる ナース

藤原 紘一

総評

兵庫県川柳協会
副理事長
村上 氷筆

第6回

ナース川柳“ひょうご”
1113句の開花

今回も投句を頂いた方々の益々の増加と作品の質の深化に感激いたしました。看護協会会長賞は連れ合いの介護の体験を再び人生の道とすると、いう覚悟を感じ入りました。兵庫県健康福祉部部長賞は患者に対する心からの思いやりが胸に迫ります。神戸市健康局局長賞の祖父のカワイイ看護師への感想は、思わず笑いを誘いました。川柳協会理事長賞は常に患者に注がれているプロのナースの目の確かさ、厳しさが感じられます。

成人一般・看護職・看護学生部門の受賞作からは、成人の看護師に対する思い、患者に対する看護師の在りようが伝わってきます。

ジュニア賞の各部の作品には祖父の命を救ってくれた看護師への感謝、ナースの手が支えてくれる命、看護師の一言で薬がタピオカみたいというステキで身近な比喻など、どれも個性的な作だと思えます。優秀賞以下のどの作品も看護というものをしっかりと見つけ、自分の言葉で深い思いが表現されています。来年も素敵な作品に出会えますように。